

## ◆繰越の方法

(画面例はすべて『PCA 商魂・商管X』を使用しています)

期が変わったので、新しい領域に移行したい場合、以下の作業で新しい領域へデータを移行することができます。

※但し、商魂・商管・売上じまん・仕入じまんは期ごとに領域を分けなくても、そのまま同じ領域で利用できるソフトとなっておりますので必ずしも必要な処理ではありません。

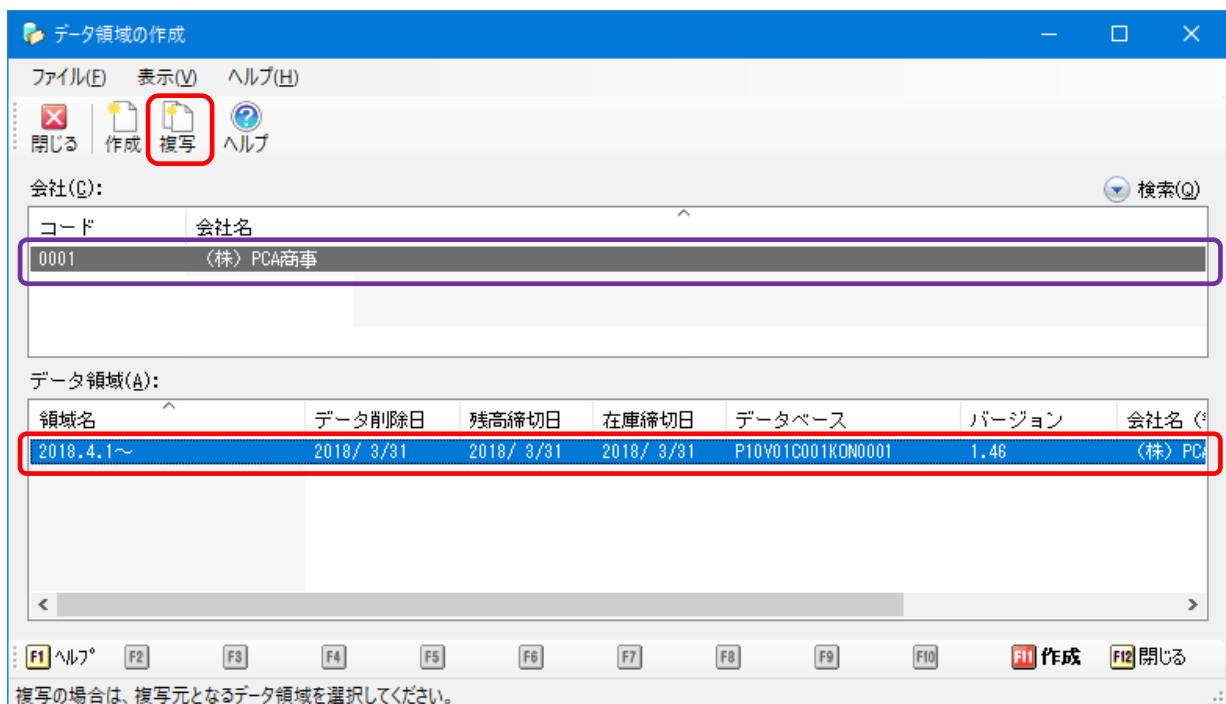
管理上、期ごとに領域を変更したい場合にのみ行ってください。

### 【注 意】

- この処理は前期が終わってすぐに実行してしまうと、「期をまたいだ請求ができなくなる」などの問題が発生します。前期が終わってから3ヶ月程度経ってから処理を実行する事をお勧めします。(例：3/31付で繰越処理を行う場合、実際に処理をするのは6月頃など)
- 前期の売上や入金に訂正があった場合、前期領域と今期領域のデータは別々に手修正が必要になります。データの連動はできません。

### 【操作手順】

- ① メニューの「ファイル」－「データ領域のバックアップ」を起動し、現在のデータのバックアップを行います。
- ② メニューの「ファイル」－「データ領域の作成」を起動します。  
現在の領域を選択した状態で[複写] ボタンをクリックします。



- ③ 「新しい領域に複写する」を選択し、[会社名] と [フリガナ] には使用中のデータ領域と同じ内容を入力します。[会社の扱い] も使用中のデータ領域の会社名を選択し、[複写] ボタンをクリックします。

データ領域の複写 - P10V01C001KON0007: (株)PCA商事

新しい領域に複写する(N)

会社名(B)	(株)PCA商事
フリガナ(D)	(株)PCAのり

既存の領域に複写する(E)

会社(D):  検索(Q)

コード	会社名
-----	-----

データ領域(A):

領域名	データ削除日	残高締切日	在庫締切日	データベース
-----	--------	-------	-------	--------

会社の扱い(D) (株)PCA商事

複写(F5) キャンセル ヘルプ(F1)

半角40文字以内で入力してください。

- ④ 複写が終わるとデータ領域の切り替え確認のメッセージが表示されますので、データ領域を切り替えないことを意味する [キャンセル] ボタンをクリックします。最初の画面に戻りますので [閉じる] ボタンをクリックして処理を終了します。

データ領域の作成

データ領域の複写が完了しました。

データ領域: (株)PCA商事  
データベース: P10V01C001KON0002

複写したデータ領域に切り替える場合は[OK]を、切り替えない場合は[キャンセル]を選択して下さい。

OK キャンセル

※念のため「ファイル」－「データ領域の選択」にて現在選択されている領域と、複写された領域が増えていることをご確認ください。

#### 【参考】

今まで使っていたデータ領域を新年度も使う運用にします。

《ネットワーク版》をご利用のお客様の場合、複写元のデータ領域を新年度で使う運用にすることにより、各クライアント（ユーザー）で「データ領域の選択」で新年度の領域を選択し直す必要がなくなります。

- ⑤ メニューの「前準備」－「会社基本情報の登録」をクリックして起動し、[データ領域名] を新しい期に合わせて変更します。（「2020.4.1～」や「令和2年度」など）次に[基本情報] タブをクリックし、[伝票入力可能期間] を新しい期に合わせて変更します。[登録] ボタンをクリックして変更した内容を登録します。

会社基本情報の登録

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 ヘルプ

会社情報(N):

コード	0001
会社名	(株)PCA商事
カナ名	(カ)PCA海ウダ
データ領域名	2020.4.1~

コンビニ支払情報 郵便局振込情報 更新履歴

企業情報 基本情報 桁数設定 消費税 項目名と敬称 連動入力 伝票入力制限1 伝票入力制限2 伝票No自動付番 計算式項目

日付設定(A):

使用する暦  西暦  和暦

伝票入力可能期間 2020年 4月 1日 ~ 2022年 3月 31日

伝票の西暦印字桁数  2桁  4桁

自動付番基準日

月次実績の締切日(B):

売上	<input type="radio"/> 5日締 <input type="radio"/> 10日締 <input type="radio"/> 15日締 <input type="radio"/> 20日締 <input type="radio"/> 25日締 <input checked="" type="radio"/> 未締
仕入	<input type="radio"/> 5日締 <input type="radio"/> 10日締 <input type="radio"/> 15日締 <input type="radio"/> 20日締 <input type="radio"/> 25日締 <input checked="" type="radio"/> 未締

原価設定(D):

原価端数 0:得意先の金額端数

原価税込区分 0:売上税込区分

在庫情報(O):

在庫締切日 2018年 3月 31日

倉庫別在庫管理  する  しない

在庫金額の評価方法

最終仕入原価法

総平均法

標準原価法

月次移動平均法

在庫金額計算時の円未満端数

切捨て

切上げ

四捨五入

F1 ヘルプ F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 参照 F9 F10 F11 F12 登録

全角20文字(半角40文字)以内で入力してください。

- ⑥ メニューの「在庫管理」－「在庫締切」を起動し、[在庫締切日] を前期の末日に設定し、[実行] ボタンをクリックします。
- ※「商管」「仕入じまん」をご利用いただいていない場合、この処理は不要ですので⑦にお進みください。

在庫の締切

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 実行 ヘルプ

【参考】前回在庫締切日：2018年 3月 31日

在庫締切日(A) 2020年 3月 31日

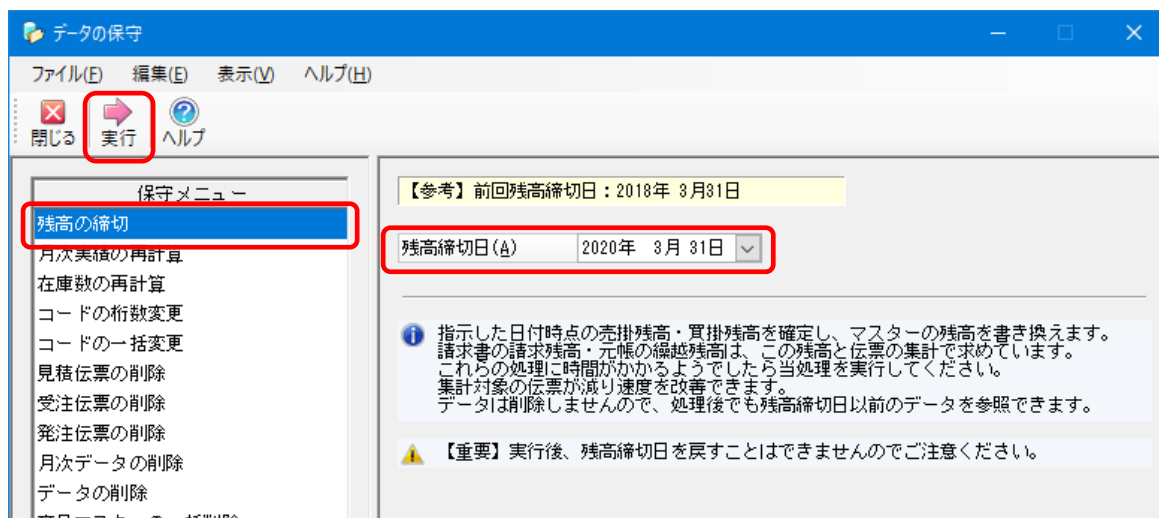
指定した日付時点の評価単価・繰越在庫数を確定し、商品マスターを書き換えます。  
伝票は削除しませんので、処理後でも在庫締切日以前の伝票を参照できます。

【重要】実行後、在庫締切日を戻すことはできませんのでご注意ください。

F1 ヘルプ F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 参照 F9 F10 F11 実行 F12 閉じる

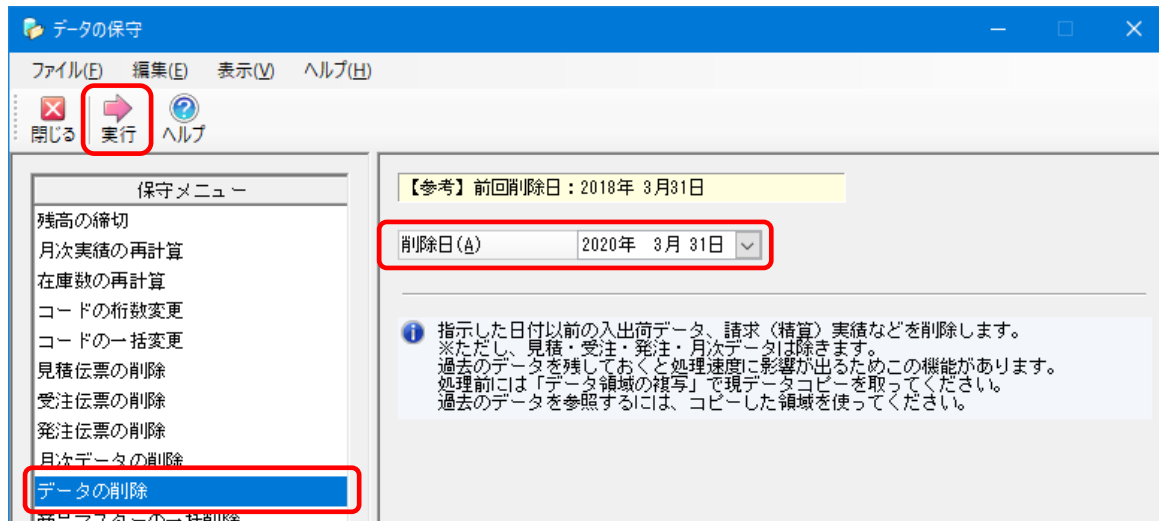
締切日を年月日を分けて入力

- ⑦ メニューの「ファイル」－「データの保守」を起動し、[残高の締切] を選択し、[残高締切日] を前期の末日に設定し、[実行] ボタンをクリックします。



- ⑧ 処理が終了しましたら、表示されるメッセージの [OK] ボタンをクリックします。

- ⑨ 次に [データの削除] を選択し、[削除日] を前期の末日に設定し、[実行] ボタンをクリックします。



- ⑩ 「データの保守」メニューを閉じます。

以上でデータの繰越作業は終了です。